

平成29年度予算見積調書(2月補正予算)

課室名: 温暖化対策課
 担当名: 埼玉ナビゲーション担当
 内線: 3037 (単位: 千円)

番号	事業名			会計	款	項	目	説明事業	
B6	先導的ヒートアイランド対策住宅街モデル事業費			一般会計	総務費	環境費	環境保全推進費	ヒートアイランド対策推進費	
事業期間	平成28年度～平成30年度	根拠法令	地球温暖化対策の推進に関する法律 埼玉県地球温暖化対策推進条例		宣言項目	10	新たなエネルギー社会の構築		
					分野施策	051142	環境に優しい社会づくり		
1 事業の概要				5 事業説明					
<p>ヒートアイランド現象は、人工被覆面の増加、都市への建築物の集積、人工排熱の増加などが主な原因であり都市化した地域に共通した大きな課題となっている。</p> <p>この課題を緩和するための方策の一つとして、総合的にヒートアイランド対策を施した先導的な住宅街モデルを民間事業者と共に創出する。</p> <p>補助金の交付決定に伴う減額 (1) 先導的ヒートアイランド対策住宅街モデル事業 △1,352千円</p>				<p>(1) 事業内容 総合的なヒートアイランド対策を施した先導的な住宅街の開発計画について公募を行い、有識者等による選定委員会による審査を経て、整備事業者を決定する。選定された事業者に対しては整備費用の一部を補助し、整備された住宅街を「先導的ヒートアイランド対策住宅街モデル」として認証し、その取組について広く普及を図る。</p> <p>ア 先導的ヒートアイランド対策住宅街への補助 29,050千円→27,773千円 下記の先導的ヒートアイランド対策にかかる経費の1/2を補助</p> <p>(イ) 環境性能舗装 (ロ) 街区内の緑化整備【彩の国みどりの基金を充当】 (ハ) 住宅の断熱化 (ニ) クーリングアイテム(2種類以上の設置) (ホ) 提案型ヒートアイランド対策</p> <p>イ 事務費 249千円→ 174千円</p> <p>(2) 事業計画 平成28年度から平成30年度までに3か所の先導的モデルを創出する。</p> <p>(3) 事業効果 ・風の流れに配慮したまちづくりや街区全般の蓄熱の抑制などにより、住宅街におけるヒートアイランド現象が緩和される。 ・先導的モデルとして県内外に積極的に発信することで、住宅街におけるヒートアイランド対策のあり方を示すことができる。 ・県が先導的モデルとして認証することにより、事業者にとってもヒートアイランド対策に積極的な優良分譲事業者として企業イメージの向上につながる。</p> <p>(4) 県民・民間活力、職員のマンパワー、他団体との連携状況 事業者から先進的な取組の提案を募り、補助を行うことで民間の活力を引き出す。</p> <p>(5) 補正予算の概要 ア 補助金の交付決定額が当初の見込みを下回ったことによる減額 △1,277千円 イ 事務費の節減に伴う減額 △75千円</p>					
2 事業主体及び負担区分 (県1/2) 民間事業者1/2									
3 地方財政措置の状況 普通交付税(包括算定経費) (区分) 企画費 (細目) 環境保全対策費 (細目) 環境保全対策費 (積算内容) 地域の実情に応じた環境保全対策									
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員 9,500千円×1.0人=9,500千円									
予算額		財 源 内 訳						一般財源	補正後の 予算額
決定額	△1,352	繰入金						△212	27,947
現計額	29,299							27,799	